



令和2年3月 25 日

別 紙

新型コロナウイルス発生以降の売上げについて（概況）

一般社団法人日本フードサービス協会

今般の新型コロナウイルスは当初の想定を上回る感染力を持ち、2か月以上経過した現在も未だ勢いは衰えず、**2月後半以降、外食産業の売上げは大きく落ち込み、特に、2月末より深刻な状況となっています。以下に概況をお知らせいたします。**

◎来客数・売上げが大幅に減少

2月後半から大幅な落ち込みが始まり、2月末から極めて深刻な状況。

3月に入り、直近の時点では、居酒屋、ディナーレストラン、ファミリーレストランなど売上げが5割以上落ち込むチェーンもあり、休業・営業時間短縮を余儀なくされている店舗も多い。

- ・ 地域的には、特に北海道が厳しく、来客数・売上げの大幅減少（事業縮小・休業店舗多数続出）

全店舗の3分の2が休業に追い込まれるなど、札幌市内の売上げが7割減少というチェーンも出ている。

- ・ インバウンド需要の減少

2月に入り、中国人観光客（全外国人観光客の3割を占める）のインバウンド需要がなくなり、外食店舗は売上げが大きく落ち込んでいる。

- ・ ショッピングセンター等の商業施設での来店者数の減少

フードコートを含むテナント店の売上げが大きく減少している。

- ・ 3～4月の宴会需要の大幅な落ち込み

3～4月は、例年なら歓送迎会シーズンだが、キャンセルが相次ぎ、予約が入らない状況にある。